

NO.19

焼き板

1 ねらい

- ・ 自然の材料を使って作品を作ることを通して，創作する喜びを味わい，手づくりのよさを見直すと共に，自然に関心をもつことへのきっかけとする。
- ・ 仲間と共に作品を作ることにより，友情を育む。

2 活動の計画

- (1) 活動期間 4～11月
- (2) 所要時間 約2時間(「絵付け」まで行う場合は約3～4時間)
- (3) グループ編成 1グループ10人が望ましい(10名に薪1束)
- (4) 対象 小学校1年生以上が適切・家族でもできます
- (5) 活動場所 焼き板場・野外炊事棟

※ 野外炊事棟で行うこともできますが，同時利用団体が野外炊事を行っている場合，「磨き」の作業の際に大量のすずが出るため同時使用はできません。

(6) 準備物

〔自然ふれあい館〕		〔利用団体〕
材料等	道具	軍手(全員が必ず着用)
焼き板セット(杉板×1，ヒートン(止め金具)×2，装飾用ポスターカラー等)：100円/式	火ばさみ 金ブラシ 筆	新聞紙(作品包装及び絵付け用) 点火用具(ライター，マッチ等) 雑巾(一人1枚)
薪(杉板10枚に対して1束)：500円/束	パレット	

3 活動上の留意点

- ・ 火を使うため，火傷をしないように服装や身支度に留意してください。
- ・ 道具を使用させる際の安全には十分に留意してください。
※ 杉板は火ばさみで挟んで焼き，手では持ちません。
- ・ 使用場所の後片付けは，各団体が責任をもって行ってください。
※ 板を焼き終わっても燃え尽きない薪がある場合にはそのままにし，燃え尽きるのを待って活動の最後に灰を一か所に寄せておいてください。
(燃え残りの薪が出た場合は，ふれあい館職員に相談してください。)
- ※ かまどには絶対に水をかけないでください。
- ・ 杉板と薪を購入していただきます。
- ・ ヒートンは小さくて紛失しやすいので，学校や家庭に戻ってから取り付けることをお勧めします。

4 展開例

区分 (時間)	活 動 内 容
説 明 (20分)	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動のねらいや道具の使用法等について説明を受けます。 2 活動場所を設定し、材料や道具を受け取ります。
活 動 (70分)	<ol style="list-style-type: none"> 1 火おこし 2 杉板を焼く <ul style="list-style-type: none"> ・焼いている間は目を離さない。(焼きすぎると板が小さくなったり薄くなって割れやすくなったりするので注意してください。燃え尽きて灰になることもあります。) ・表面全体を満遍なく焼きます。(火ばさみで挟んでいる部分が焼けないので適宜持ち替えます。板の切口の部分も焼きます。) 3 砂利の上でこすって火を消し、表面を粗く整えます。 4 金ブラシでこすり、焼け焦げを取ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・火ばさみでしっかり押さえ、煤が出なくなるまで木目に沿ってこすります。 5 乾いた雑巾でこすり、つやを出します。 <p>※ 活動計画に応じて絵付け等を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 後片付けをします。(雑巾や新聞紙は持ち帰ってください。)
まとめ (30分)	<ol style="list-style-type: none"> 1 作品発表会 2 感想発表, 反省 3 講評



焼き板を焼こう！

やけどに注意！

①材料は杉板の他に丸太の輪切り、木片、火切り板なども使える。焼いた後の用途によって選ぶ。



②表面全体を焼く。

★火バサミではさむ(手で持たない)



★切り口もていねいに焼く
★焼きすぎると小さくなったり薄くなって割れやすくなったりするので注意！

④火が完全に消えたら、金ブラシでまんべんなくこすり、焼け焦げを取る。



★火バサミでおさえる

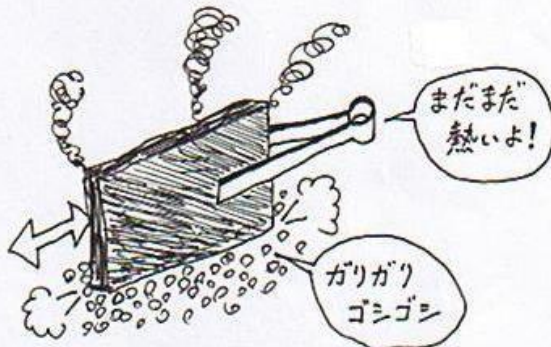
金ブラシ
歯ブラシじゃないよ

★木目に沿ってこする

切り口も
ていねいに
こする

★黒い煤が出なくなるまで

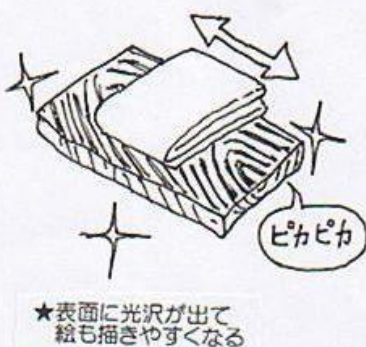
③砂利の上でこすって火を消し、表面を粗く整える。



まだまだ
熱いよ！

ガリガリ
ゴシゴシ

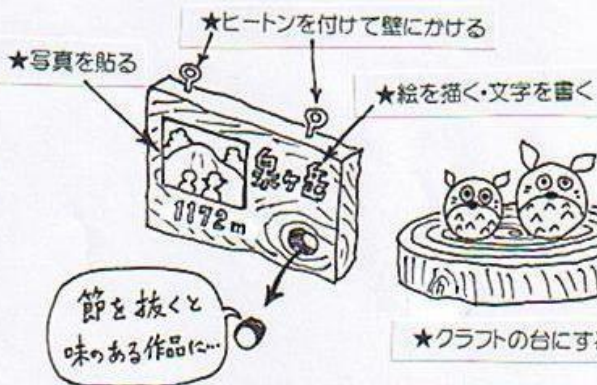
⑤布でこする。



ピカピカ

★表面に光沢が出て
絵も描きやすくなる

⑥完成したら作品に仕上げる。



★写真を貼る

★ヒートンを付けて壁にかける

★絵を描く・文字を書く

節を抜くと
味のある作品に...

★クラフトの台にする